

新規着任教員紹介



大船 ちさと 准教授 OFUNE Chisato

「日本語教育」といっても、その内実は非常に多様です。明確な目的や目標をもって日本語を学ぶ人もいますが、自分の意志ではなく状況や環境から学ばざるを得ない人もいるのが実情で、年少者にその傾向が比較的多くみられます。社会情勢も変化しています。このような中、私たちは学習者のためにどのような学びの場を創っていくことができるでしょうか。教育のあり方、学習目標および内容、カリキュラムや教材のあり方を批判的に検討し、カリキュラム開発や教材開発、教師教育について考えていきます。

①最終学歴・学位 ②職歴 ③主な著書・論文

研究課題

◆年少者日本語教育 ◆カリキュラム・教材研究および開発
◆教師研究 ◆異文化間教育

- ① 明治大学国際日本学研究所博士後期課程・博士(国際日本学)。
- ② 西安外国語大学(中国)、人民教育出版社(中国)、国際交流基金日本語上級専門家(ベトナム、フィリピン、英国)、国際交流基金日本語国際センター 日本語教育専門員を経て2025年9月に着任。
- ③ 『異文化間教育事典』(共編) 明石書店、『言語教育プログラムを可視化する—よりよいプログラム運営のために—』(共著) 凡人社、『海外の中等教育段階における日本語教育の研究動向分析—中等日本語教育の理論構築に向けて—』『日本語教育』175号、『外国語教育から見た異文化間能力—海外の中等教育段階における日本語教材開発の視点から—』『異文化間教育』45号、その他海外(中国、ベトナム、フィリピン)の中高校向け日本語教科書の編集・執筆ほか。



嶋 ちはる 教授 SHIMA Chiharu

第二言語習得を、職場や地域コミュニティ、教室や寮など、そのL2話者が所属するコミュニティの一員となっていくという過程という社会的な視点から捉え、その過程で見られる言語使用や他者との関係性の変化、言語社会化やアイデンティティ構築のプロセスについて考えます。社会的なコンテキストの中でのL2学習を含めたインターアクションや人間関係を理解するための研究手法を検討するとともに、日本語教育へ応用する可能性について考察していきます。

研究課題

◆第二言語習得(社会的視点) ◆職場における相互行為・エスノグラフィ研究 ◆看護・介護の日本語教育
◆地域日本語教育・地域人材養成

- ① ウィスコンシン大学マディソン校(アメリカ)第二言語習得研究科博士課程。Ph.D(第二言語習得、ウィスコンシン大学マディソン校)。
- ② 関西学院大学日本語教育センター常勤講師、国際教養大学日本語プログラム助教、国際教養大学専門職大学院日本語教育実践領域助教・准教授を経て2026年4月に着任。
- ③ *Discourses of Identity: Language Learning, Teaching, and Reclamation Perspectives in Japan*(分担執筆)、『超基礎 第二言語習得研究』(共著) くろしお出版、『超基礎 日本語教育』(共著) くろしお出版、Person reference and recognition in shift handovers: An analysis of interactions between Japanese and international care workers. *Multilingua* 40(1)(共著)など。

2026-2027年度入試日程

修士課程
≡

2026年9月入学	一般入学試験・国費留学生等入学試験	学内選抜入学試験(第1回)	学内選抜入学試験(第2回)
事前課題発表	2026年2月27日(金)	終了	2026年2月27日(金)
出願期間	2026年3月23日(月)～3月27日(金)		2026年3月23日(月)～3月27日(金)
第1次選考合格者発表	2026年5月20日(水)		2026年5月20日(水)
第2次選考	2026年5月30日(土)～6月1日(月)		2026年5月30日(土)～6月1日(月)
最終合格者発表	2026年6月3日(水)		2026年6月3日(水)
入学手続締切	2026年6月17日(水)		2026年6月17日(水)

2027年4月入学	一般入学試験・国費留学生等入学試験	学内選抜入学試験(第1回)	学内選抜入学試験(第2回)
事前課題発表	2026年7月24日(金)	2026年2月27日(金)	2026年7月24日(金)
出願期間	2026年8月18日(火)～8月21日(金)	2026年3月23日(月)～3月27日(金)	2026年8月18日(火)～8月21日(金)
第1次選考合格者発表	2026年10月14日(水)	2026年5月20日(水)	2026年10月14日(水)
第2次選考	2026年10月24日(土)～10月26日(月)	2026年5月30日(土)～6月1日(月)	2026年10月24日(土)～10月26日(月)
最終合格者発表	2026年10月28日(水)	2026年6月3日(水)	2026年10月28日(水)
入学手続締切	2026年11月20日(金)	2026年6月17日(水)	2026年11月20日(金)

2027年9月入学	一般入学試験・国費留学生等入学試験	学内選抜入学試験(第1回)	学内選抜入学試験(第2回)
事前課題発表	2027年2月26日(金)	2026年7月24日(金)	2027年2月26日(金)
出願期間	2027年3月23日(火)～3月26日(金)	2026年8月18日(火)～8月21日(金)	2027年3月23日(火)～3月26日(金)
第1次選考合格者発表	2027年5月19日(水)	2026年10月14日(水)	2027年5月19日(水)
第2次選考	2027年5月29日(土)～5月31日(月)	2026年10月24日(土)～10月26日(月)	2027年5月29日(土)～5月31日(月)
最終合格者発表	2027年6月2日(水)	2026年10月28日(水)	2027年6月2日(水)
入学手続締切	2027年6月16日(水)	2026年11月20日(金)	2027年6月16日(水)

博士後期課程
≡

2026年9月入学	一般入学試験・国費留学生等入学試験	2027年4月入学	一般入学試験・国費留学生等入学試験	2027年9月入学	一般入学試験・国費留学生等入学試験
事前課題発表	2026年4月27日(月)	事前課題発表	2026年11月2日(月)	事前課題発表	2027年4月26日(月)
出願期間	2026年5月25日(月)～6月1日(月)	出願期間	2026年11月23日(月)～11月27日(金)	出願期間	2027年5月24日(月)～5月28日(金)
第1次選考合格者発表	2026年6月24日(水)	第1次選考合格者発表	2027年1月13日(水)	第1次選考合格者発表	2027年6月23日(水)
第2次選考	2026年7月4日(土)～7月5日(日)	第2次選考	2027年1月23日(土)～1月24日(日)	第2次選考	2027年7月3日(土)～7月4日(日)
最終合格者発表	2026年7月6日(月)	最終合格者発表	2027年1月25日(月)	最終合格者発表	2027年7月5日(月)
入学手続締切	2026年7月17日(金)	入学手続締切	2027年2月2日(火)	入学手続締切	2027年7月16日(金)

※上記のほか、一般科目等履修生も募集します。入試日程等は本研究科ウェブサイトを参照してください。

2026年度オンライン講座

未来を創る日本語教育 ― 理論と実践 ―

講義型（コースA）

春学期 5テーマ10セッション（ライブセッションはすべて土曜日15:00～16:30/日本時間に実施）

セルフラーニング、ディスカッション （土～翌週日）	ライブセッション （土）	議題テーマ	講師
4月4日～4月12日	4月11日	新しい日本語教育の捉え方（1）：外国人就労者と日本語教育	宮崎 里司
4月11日～4月19日	4月18日	新しい日本語教育の捉え方（2）：日本語教師と日本語教育関連法	
5月2日～5月10日	5月9日	世界の日本語教育（1）：人の移動とことば	福島 青史
5月9日～5月17日	5月16日	世界の日本語教育（2）：行動中心アプローチの考え方	
5月30日～6月7日	6月6日	待遇コミュニケーション教育（1）：「敬語」を乗り越える	蒲谷 宏
6月6日～6月14日	6月13日	待遇コミュニケーション教育（2）：「行動展開表現」を考える	
6月13日～6月21日	6月20日	「やさしい日本語」と日本語教育（1）：接触経験とコミュニケーションストラテジー	柳田 直美
6月20日～6月28日	6月27日	「やさしい日本語」と日本語教育（2）：非母語話者からみた「やさしい日本語」	
7月11日～7月19日	7月18日	学習環境デザイン（1）：学びの場のデザイン	館岡 洋子
7月18日～7月26日	7月25日	学習環境デザイン（2）：教室における協働の学び	

● 受講料 通年（春・秋）：100,000円 半期：60,000円 定員60名（最少開講人数15名）

秋学期 5テーマ10セッション（ライブセッションはすべて土曜日15:00～16:30/日本時間に実施）

セルフラーニング、ディスカッション （土～翌週日）	ライブセッション （土）	議題テーマ	講師
10月3日～10月11日	10月10日	日本語教育の目標を再考する（1）：世界の多様な現場と学習者ニーズ	大船 ちさと
10月10日～10月18日	10月17日	日本語教育の目標を再考する（2）：目標設定と実践デザインのあり方を考える	
10月24日～11月1日	10月31日	地域社会と日本語教育（1）：「教える・学ぶ」を問い直す	池上 摩希子
10月31日～11月8日	11月7日	地域社会と日本語教育（2）：「リテラシー」を問い直す	
11月7日～11月15日	11月14日	コミュニケーションと文法（1）：「文法」とは何か	小林 ミナ
11月28日～12月6日	12月5日	コミュニケーションと文法（2）：「文法のためのコミュニケーション」から「コミュニケーションのための文法」へ	
12月5日～12月13日	12月12日	自然会話と日本語教育（1）：会話の成り立ちを分析的に捉える	船橋 瑞貴
12月12日～12月20日	12月19日	自然会話と日本語教育（2）：話し手／聞き手に求められるスキルを考える	
1月2日～1月10日	1月9日	評価と日本語教育（1）：大規模テストによる評価	李 在鎬
1月9日～1月17日	1月16日	評価と日本語教育（2）：クラス活動としての評価	

● 受講料 半期：60,000円 定員60名（最少開講人数15名）

ワークショップ型（コースB）

①「日本語教師」の実践の省察 ―他者との対話を通して自身の課題を見直す―

「日本語教師/日本語教育専門家」として成長するためには、実践への省察が欠かせないといわれています。本ワークショップでは、自身のフィールドでの実践経験をもとに、その改善に向けて協働で省察していく場をつくり参加者同士が意見交換しながら、自身の実践が置かれている文脈や自身の「日本語教育観」を見つめ直します。

日程	時間	担当講師	受講料	定員
9/26(土) 10/3(土) 10/10(土) 10/17(土)	10:00～12:00	館岡 洋子・竹内 雪乃・櫛田 ひかる・野宮 公美	24,000円(全4回)	20名

(最少開講人数5名)

②「状況」のなかで言語とコミュニケーションを考える授業実践

「「状況」のなかで言語とコミュニケーションを考える」というアプローチ（以下、「状況アプローチ」）について講義とグループディスカッションにより理解を深めるとともに、それを具体的な授業実践に落とし込むことを目指します。参加者が現場で抱えている課題や興味関心を、「状況アプローチ」に基づいて具体的な授業実践としてデザインします。

日程	時間	担当講師	受講料	定員
12/12(土) 12/19(土) 1/9(土)	10:00～12:00	小林 ミナ	18,000円(全3回)	30名

(最少開講人数5名)

登録日本語教員について

本研究科修士課程では2027年度開始を目標に登録日本語教員養成に係る「登録日本語教員養成機関」「登録実践研修機関」の認可申請に向けて準備を進めています。詳細は決定次第、本研究科ウェブサイトにてお知らせいたします。
(関係省庁による認可等の関係から、予定通りに開始できない可能性があります。)

ウェブサイトはこちらから

